

# 「令和元年度東京都水道局休日発災対応訓練」 の実施について

6月22日（土）、令和元年度東京都水道局休日発災対応訓練を実施しました。本訓練は、職員の防災意識の向上及び危機対応能力の強化を図るとともに、休日・夜間発災時における応急対策の実効性を確保するために、例年実施しています。

特に、休日等の発災時と同様の環境で、所属外職員も含めた参集体制による訓練を行うことにより、初動期に活動する職員の実践的な対応力の向上を図っています。

今回の訓練には、各所属の職員及び最寄り事業所に参集する予定の職員のうち、自宅から参集場所（所属又は最寄り事業所）までの距離が20km以内のもの約半数を対象とし、局職員約1,350名及び政策連携団体社員等約600名が参加しました。

## 【訓練概要】

災害の想定は、6月22日（土）午前4時に東京湾北部を震源とするM7.3の地震が発生し、区部で主に震度6強、多摩地域で主に震度6弱を観測したものです。また、より実践的な訓練とするため、参加者に事前に詳細な被害想定や訓練内容を知らせないブラインド型訓練としました。

訓練は、発災初動期となる発災から5時間後の想定で開始し、都内で大規模な断水が発生している想定で、全部所で実施しました。

## 【事業所における訓練】

各事業所で作成した被害想定に基づいて訓練を実施しました。交通機関が停止している場合に、所属外の職員が参集して来る事業所においては、事前に所属外職員の活動内容の検討も行いました。

訓練の主な内容は、次のとおりです。

- ・ 職員、施設、管路、工事現場等の被害状況調査及び対処訓練
- ・ 震災情報システム入力訓練

- ・ 衛星携帯電話及び業務用無線操作訓練
- ・ 庁舎等危険度診断
- ・ 停電対応訓練
- ・ 災害時給水ステーションにおける応急給水訓練
- ・ SNS等による漏水情報等の収集訓練
- ・ その他各事業所のマニュアルに沿った初動対応訓練



初動対応訓練（水運用センター）



初動対応訓練（水質センター）



漏水調査訓練（亀戸業務センター TSS（株））



応急給水訓練（立川SS（株）PUC）

【本庁各部及び多摩水道改革推進本部の訓練】

本庁各部及び多摩水道改革推進本部では、状況付与を交えた図上訓練を行うとともに、給水対策本部会議を都庁第二本庁舎の22C会議室で実施しました。

給水対策本部会議では、震災情報システムを活用し、水道施設や管路の被害状況等についての報告と、プレス発表内容についての審議等が行われました。また、被害状況報告の際には、試行として、映像伝送アプリを利用し、水道緊急隊と映像と音声による通信を行い、水道緊急隊長からPHS回線を活用した首都中枢機関や拠点病院の通水状況確認の報告がありました。



情報連絡・図上訓練（配水施設復旧班）



本部審議訓練（都庁）